

リスク情報の活用による原子力の安全性向上

2024年2月15日
原子力エネルギー協議会
(ATENA : Atomic Energy Association)

はじめに

- **ATENA設立から5年が経過し、規制当局との技術的な対話を行いながら、原子力発電所の安全性向上に向けた取り組みを積み重ねてきている。**
- **一方、国内においては、諸外国に比べてリスク情報を活用した発電所の脆弱点や運用上の課題の抽出、新知見等の検討が十分行われている状況には至っていないとの課題認識がある。**
- **米国におけるリスク情報活用の取組みや、規制機関と産業界のコミュニケーションなどを踏まえ、国内におけるリスク情報活用のありかたについて議論したい。**

パネルディスカッションの論点

- 国内においてリスク情報の活用をより一層進めるために
何が必要か
 - ✓ 米国におけるリスク情報活用の歩み、成功要因
 - ✓ 国内の規制当局、産業界それぞれにおけるリスク情報活用の現状、
目指す姿とのギャップ解消のために必要なこと
 - ✓ 更に幅広い観点から、考慮が必要なリスク要因は何か